

ルフェーブル
ソナタ第7番ト短調
X.Lefevre: Sonata Nr.7

ゴーベール
幻想曲
Ph.Gaubert

プーランク
クラリネット・ソナタ
F.Poulenc: Sonata

モーツァルト
クラリネット五重奏曲
K.581
V.A.Mozart: Clarinet Quintett K.581

クラリネット リサイタル

藤井 一興 (ピアノ)
Kazuoki Fujii, Piano

徳永 二男 (ヴァイオリン)
Tugio Tokunaga, Violin

小林 美樹 (ヴァイオリン)
Miki Kobayashi, Violin

川本 嘉子 (ヴィオラ)
Yoshiko Kawamoto, Viola

岩崎 洸 (チェロ)
Koh Iwasaki, Cello

9/14 (水)

開演19:00 (開場18:30)
東京文化会館 小ホール

14th Sep, Wednesday 2022, 19:00
Tokyo Bunka-kaikan Small Hall

後援
一般社団法人 日本クラリネット協会
桐朋学園音楽部門同窓会

チケット 一般5,000円 学生3,500円

◇ チケットぴあ <https://t.pia.jp>
Pコード: 216-424

◇ 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp/tickets/

マネジメント
株式会社クレオム info@creomu.com

第33回

二宮和子

Sieries XXXIII
Kazuko Ninomiya
Clarinet Recital



二宮和子 (クラリネット) Kazuko Ninomiya, Clarinet

桐朋学園大学音楽科卒業。フランス政府給費留学生として渡仏。世界最高峰の音楽家、クラリネット奏者ジャック・ランズロ教授に師事。'63年フランス国立ルーアン音楽院を首席で卒業。洗練されたフランス音楽の伝統を継承する演奏家として注目を集め、ルーアンを中心に演奏活動後、帰国。これまでに、32回のソロサイタルを開催。フランス近現代の作品はもとより、世界の“知られざるクラリネット名曲”を意欲的に紹介。本邦初演や委嘱作品初演曲は28曲に及ぶ。室内楽でも「東京アーツ・アンサンブル」「Play the Music」等で活発に活動。帰国後も、海外7カ国で公演。'97年ブルガリア・ソフィアにてモーツァルトのクラリネット協奏曲を演奏。クラリネットの国際コンクール、国内コンクール審査員も多数歴任。その活動は海外でも高く評価され、'89年にイギリスで出版の「今日のクラリネットの巨匠達～世界55人」に選ばれる。2005年「2005国際クラリネットフェストTAMA」では、世界一流のクラリネット奏者を日本に招聘。演奏活動の他に、桐朋学園大学、尚美学園ディプロマコース、大阪音楽大学で後進を育成し、優秀なプロ奏者を数多く輩出。現在、(一社)日本クラリネット協会・常任理事、桐朋学園大学同窓会会長も務める。長年の演奏活動及びジャック・ランズロ国際クラリネットコンクール2014年実行委員長としての業績により2015年(一社)日本クラリネット協会賞を授与される。又、2018年第4回ジャック・ランズロ国際クラリネットコンクール実行委員長として尽力。次回(2023年8月予定)第6回同コンクールの実行委員長として開催準備中。

Series XXXIII Kazuko Ninomiya Clarinet Recital



藤井一興 (ピアノ) Kazuoki Fujii, Piano

東京芸術大学在学中に渡仏し、パリ国立高等音楽院を作曲科、ピアノ伴奏科ともに1等賞で卒業。パリ・エコール・ノルマルを高等演奏家資格第1位で卒業。作曲をO.メシアン、ピアノをY.ロリオ、M.クルチオに、ピアノ伴奏をアンリエット・ブイグ＝ロジェの各氏に師事。ヨーロッパや日本国内でのソロ・リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演のほか、フランス国営放送局、NHKなどで多くの録音を行うなど幅広い活動を行っている。世界初のフォーレ・ピアノ作品全集の校訂を担当(春秋社)。多くの国際コンクールで審査員を務める。現在、東邦音楽大学大学院教授、東邦音楽総合芸術研究所教授、桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学講師。



徳永二男 (ヴァイオリン) Tugio Tokunaga, Violin

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。1968年ベルリンへ留学。長年NHK交響楽団のソロ・コンサートマスターを務める。在団中からベルリンやカーネギーホールでの室内楽コンサートなど国内外で絶賛を博した。1994年N響退団以降、ソロや室内楽で目覚ましい活躍を続けており、モントリオール響やイギリス室内管をはじめ多くのオーケストラと共演。1996年から宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て、2011年からは音楽監督を務めている。2016年には楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。CDも多数リリース。最新盤は「徳永二男 プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」。

©ヒダキトモコ



小林美樹 (ヴァイオリン) Miki Kobayashi, Violin

2011年 ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールにて第2位を受賞して一躍注目を集めた。06年にはレオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏から審査委員特別賞を受賞。これまで国内主要オーケストラはもとより、ヴェンゲロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランドの主要オーケストラとも共演している。宮崎国際音楽祭、鎌倉芸術館ゾリステンなどで室内楽にも精力的に活動。14年出光音楽賞を受賞。CDは4枚リリース。

©山吹康男



川本嘉子 (ヴィオラ) Yoshiko Kawamoto, Viola

1992年ジュネーヴ国際コンクール・ヴィオラ部門で最高位(1位なしの2位)。1996年村松賞、1997年第7回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015年東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞受賞。ソリストとして、これまでにガリー・バルティニ、ジャン・フルネ等の著名な指揮者と共演。1999年～都響首席奏者。2017年～2021年までNHK交響楽団の首席客演ヴィオラ奏者を務める。類稀なる表現力とテクニックで聴衆を魅了し、日本を代表するヴィオラ奏者の一人として常に第一線で活躍している。

©島崎陽子



岩崎洸 (チェロ) Koh Iwasaki, Cello

桐朋学園高校を経て、ジュリアード音楽院に留学。レオナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスの各氏に師事。1965年 ニューヨークでデビュー。多くの国際チェロコンクールに上位入賞。その後、世界各国でソロ及び室内楽奏者として演奏を続けている。アメリカやヨーロッパの数多くの音楽祭に招かれ、演奏並びに後進の指導にあたっている。